

2022『日本カトリック平和旬間』賛同企画

平和を祈る集い

第二部よりネットLIVE配信

8月11日(木曜日)《山の日》振替休日

あなたがたに 平和があるように

(ヨハネ福音書20章19節)

第一部 グループ主催企画 10:00~12:00

- ① 死刑囚えん罪裁判勉強会
(古川住職 生命山シュバイツァー寺)
会場: 1階講堂 (事前参加申し込みは必要ございません)
- ② 3.11あの日、あの時プロジェクトパネル展
(福島原発事故被害救済九州訴訟を支援する会)
会場: 1階ロビー (ご自由にご覧下さい)
- ③ 被爆マリア像と共に平和を願う、祈りの会
(協力・カトリック浦上教会)
 - ・10:00~11:30は自由参加による、沈黙の祈り
 - ・11:30~パウロ会ブラザーハセガワによる、共に祈る時間
「震災のための祈りのリレー」同時進行会場: 大聖堂
ご都合の良い時間で沈黙のうちに祈り下さい
11:30~のご参加も可能です

第二部 講演会 13:30~15:00

「平和を尋ね求め、
追い求めよ」
(詩編34:15)

講話
森山 信三 司教 (大分教区)



第三部 平和祈願ミサ 15:30~16:30

インターナショナルミサ

主司式者 ヨゼフ・アベイヤ司教

会場

【福岡司教座聖堂】 福岡カテドラル・センター
カトリック大名町教会
2階 大聖堂

(写真提供:カトリック浦上教会「被爆マリア像」)

主催: 福岡地区 信徒使徒職協議会

共催: 社会福音ネットワーク・福岡

会場【福岡教区司教座聖堂】福岡カテドラル・センター カトリック大名町教会 〒810-0041福岡市中央区大名2丁目7番7号

当日は、大名町教会コロナ感染症予防対策に従い、大聖堂は収容人数253名制限となります。

また、福岡県内に緊急事態宣言が発出された場合はYouTube配信のみとなります。新型コロナ感染症予防対策のためご理解いただきますようお願いいたします。

事務局

お問い合わせ: 090-6775-4268(青木)

20220717PS00A4 (4+1)

2022『日本カトリック平和旬間』賛同企画
8月11日(木曜日)《山の日》振替休日

平和を祈る集い

あなたがたに平和があるように

(ヨハネ福音書2章19節)

第一部 グループ主催企画 10:00~12:00



古川住職
生命山シュバイツァー寺

① 死刑囚えん罪裁判勉強会

1947年5月20日、福岡市博多駅近くの堅粕で、二人の商人が軍服の取引の最中に殺され、現場から現金が奪い取られた強盗殺人事件、いわゆる「福岡事件」が起こります。この事件で逮捕された西武雄さんと石井健治郎さんは、戦後第一号の死刑判決を受けますが、彼らは一貫して、えん罪を訴えていました。

この二人に福岡拘置所で教説師をしていた生命山シュバイツァー寺開山古川泰龍(たいりゆう)が出会い、彼らのえん罪を信じこの事件の再審を求める運動を1961年から始めました。

しかし1975年6月17日、石井さんは恩赦で死刑から無期懲役に減刑されました。同日西さんは処刑が執行されてしまいました。

「叫びたし寒満月の割れるほど」この句は西さんの獄中からの魂の叫びです。

28年もの間、えん罪を訴えていた二人ですが、一人は恩赦で助かるも、もう一人は死刑執行と、その明暗を分けたのは一体何だったのでしょうか。こうして事件の真相は闇に葬られたのでした。

「叫びたし寒満月の割れるほど」

西武雄さんの悲劇を繰り返さないために~「福岡事件」と再審運動

生命山シュバイツァー寺は、この再審運動を60年以上続けています。この間、わたしたちは何度も再審請求をしましたが、すべて棄却されました。「針の穴にラクダを通す」ほど難しいと言われている再審制度ですが、当事者が誰もいない「福岡事件」は、どの事件より再審実現のハードルは高いと言っても過言ではありません。それでもわたしたちはこの運動を続けていきます。

今回、この「福岡事件」と再審運動についてご紹介したいと考えております。また西さんの獄中からの叫びや処刑の経緯などもお話しします。このことでえん罪の恐ろしさ、死刑制度の問題などを参加者の皆さんに知っていただければと思います。

今は再審が叶わない状況ですが、この運動を訴え続けることで、一人でも多くの人に支援の輪を広げ、いつの日か西さんたちの無実を証明したいと考えております。これは名誉回復のためだけでなく、司法制度の過ちを正すためであり、「いのち」を守る社会を作るために必要な活動だと信じています。

② 3.11あの日、あの時プロジェクトパネル展

東日本大震災と原発事故から11年半が経とうとしています。長もあり、あつという間もあります。時間とともに和らいでいく記憶もあってよいでしょう。

しかし、忘れてはいけない記憶もあるはずです。この企画は、3.11後の「あの日あの時」あなたのまわりで、どんなことが起き、どんな思いに駆られ、どんな行動をとったか、当時の体験を再現するかたちで文章に綴っていただいたものです。その記憶は3.11を風化させないための記録

となり、広く語り継がるべき原子力災害史の資料ともなるでしょう。アンケート調査などによる数量化・可視化されたデータとしてではなく、個々の生の体験を文章にして保存し後世に伝えたいと願い、わたしたち福島原発事故被害救済訴訟の原告団と支援者たちで、「あの日、あのときプロジェクト」を立ち上げました。みなさまから寄せられたメッセージをパネルにして展示し、より多くの方々に知っていただきたいと考えております。

③ 被爆マリア像と共に平和を願う、祈りの会

被爆マリア像その表情からは、戦争の恐ろしさ、原爆の悲惨さとその脅威、そしてそれらを行う人間の愚かさを嘆きしかけいを神に願い求める祈りを感じができるのではないかでしょうか。

原爆投下前の浦上教会正面祭壇の最上段にこの木製のマリア像があったそうです。両眼には青いガラス玉、水色の衣を身にまと、頭の周りを12の星が取り巻く美しいマリア像だったと伝えられています。

今年の平和を祈る集いのために、浦上教会のご厚意で

司祭館に飾られている「被爆マリア像」の写真をお貸しいただけることになりました。

大聖堂内陣に安置いたします「被爆マリア像」の写真と共に、参加者お一人お一人のご都合の良い時間で大聖堂にお越しになり、お一人お一人の思いで沈黙のうちに祈り下さい。

11時30分よりは、パウロ会ブラザーヘンによるともに祈る時間で締めくくります。この時間だけのご参加も可能です。



第二部 講演会 13:30~15:00

「平和を尋ね求め、追い求めよ」(詩編34:15)

講話 森山 信三 司教(大分教区)

第三部 平和祈願ミサ 15:30~16:30 インターナショナルミサ 主司式者 ヨゼフ・アベイヤ司教



【福岡司教座聖堂】 福岡カテドラル・センター
カトリック大名町教会
2階 大聖堂



共同祈願者 Nguyen Van Hung (ゲン・バン・フン)

1989年にベトナムから木造船で日本に逃れてきたインドシナ難民です。生活に行き詰まり、物を盗んだことなどで刑務所に入り、出所後は入国管理センターに収容されました。大阪と大村と合わせて6年以上の収容から、今年3月に解放され、現在は大村市で生活しています。在留特別許可を得るために、多くの方の署名をいただきました。

主催：福岡地区 信徒使徒職協議会
共催：社会福音ネットワーク・福岡

会場：【福岡教区司教座聖堂】

福岡カテドラル・センター カトリック大名町教会 〒810-0041福岡市中央区大名2丁目7番7号

当日は、大名町教会コロナ感染症予防対策に従い、大聖堂は収容人数253名制限となります。

また、福岡県内に緊急事態宣言が発出された場合はYouTube配信のみとなります。

新型コロナ感染症予防対策のためご理解いただきますようお願いいたします。